

投資者の皆さまへ
(販売用資料)

短期米ドル社債ファンド2015-06 (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／債券 ※課税上は株式投資信託として取扱われます。

目指すのは、安定感のあるトータルリターン。



Short Duration USD Corporate Bond Fund

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込み

大和証券

Daiwa Securities

<販売会社>

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

<委託会社>

商号等 大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

お申込みの際には、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」等を必ずご覧ください。

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は、大和住銀投信投資顧問が作成した販売用資料です。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

(2015年6月作成)

ファンドのポイント

ポイント1

債券クレジットのスペシャリストであり、高い運用実績を有する『リバティ・ハーバー』(注1)が実質的な運用を行ないます。

- 主として米ドル建て社債を投資対象とし、ベンチマークや格付けなどにとらわれず、企業分析を通じて銘柄を厳選し、高いトータルリターンを目指します。
- 機動的な銘柄入替えを行ない、相対的に高い利息収益の確保を継続的に行なうとともに、個別銘柄の値上がり益を常に追求します。
- 短期デュレーション運用により、金利変動による価格変動リスクを極力排除します(米国金利の上昇に耐性を持たせることを目指します)。
 - ・ ポートフォリオの目標平均デュレーションは、原則として3年以内程度とします。
 - ・ 2015年3月末現在、ポートフォリオの最終利回りは5.5%(デュレーション2.1年)。過去5年間の平均トータルリターンは年率6.6%という好パフォーマンス(注2)。

(注1)リバティ・ハーバーは、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントにおける債券クレジット専門の運用チームです。

※個別証券では、残存期間が3年を超える債券に投資する場合があります。

(注2)米ドルベース、経費控除前

※上記は当ファンドが主要投資対象とする外国籍投資信託の過去の運用実績(米ドルベース、経費控除前)であり、当ファンドの将来の運用成績を示唆または保証するものではありません。

ポイント2

『為替ヘッジあり』と『為替ヘッジなし』からご選択いただけます。

- 『為替ヘッジあり』では、対円で為替ヘッジを行ない、為替リスクの低減を目指します。
- 『為替ヘッジなし』では、為替リスクはともないますが、円安時には為替差益が期待できます。

※各ファンド間でスイッチングはできません。

ポイント3

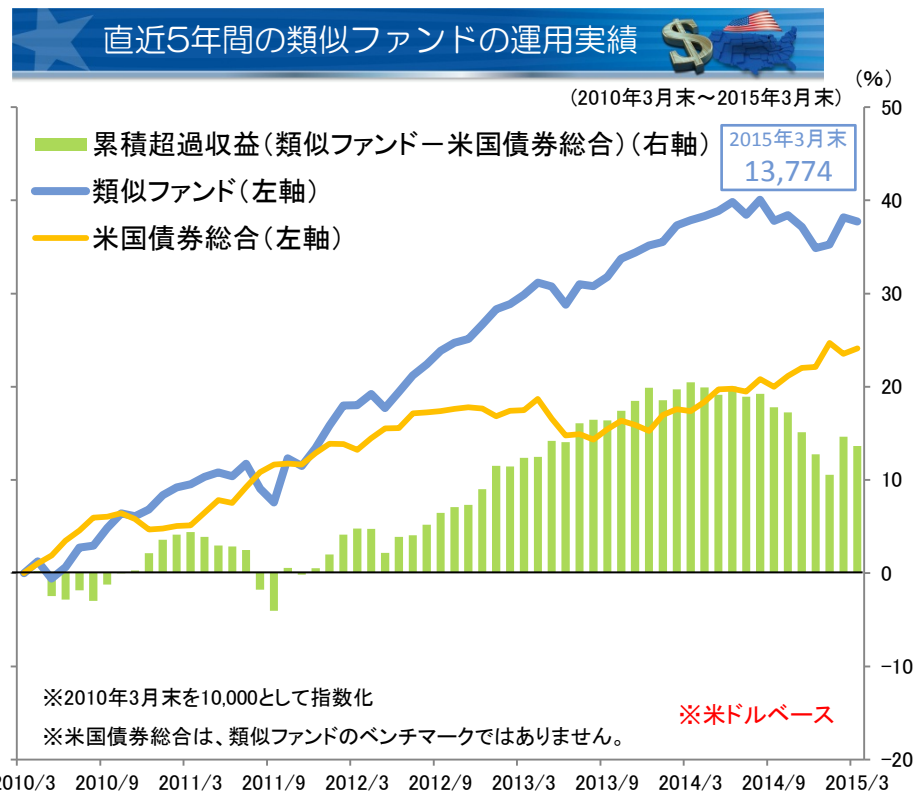
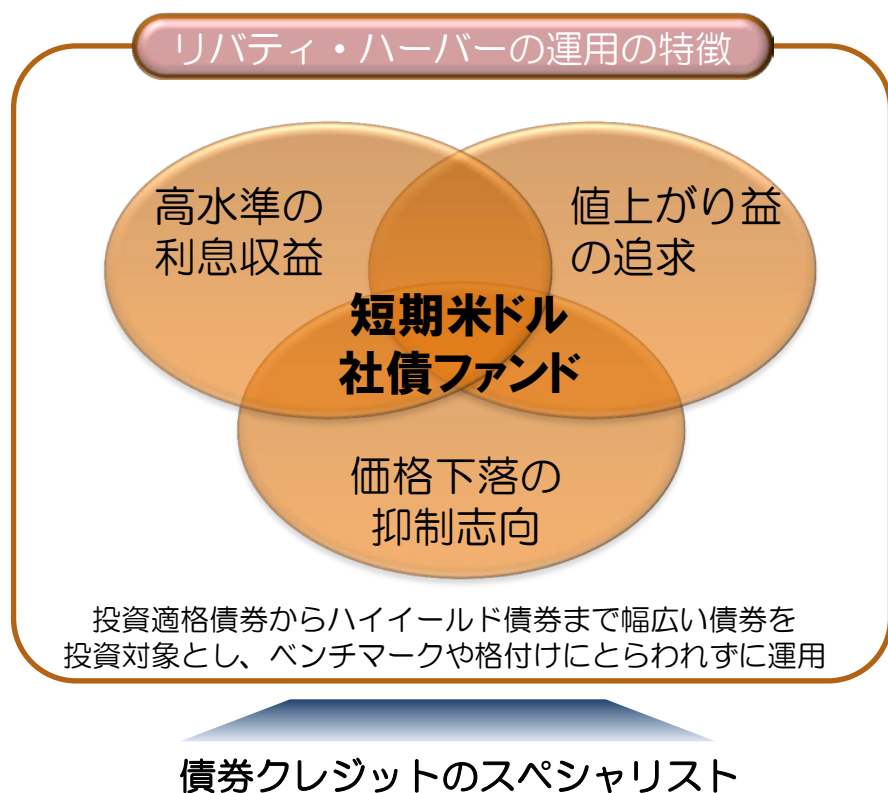
既払分配金を含む基準価額(1万口当たり、税引前)が、12,000円を超えた場合に償還手続きに入る仕組みの投資信託(購入の申込期間:2015年6月1日~2015年7月31日)です。

- 『為替ヘッジあり/為替ヘッジなし』のいずれのファンドも既払分配金を含む基準価額が12,000円を一度でも超えた場合、順次安定運用に切り替え、ファンド全体が安定運用に入った後、繰上償還を行ないます。
- 信託期間は2015年6月1日~2019年5月20日(約4年)です。

安定的で良好なトータルリターンを誇る

「リバティ・ハーバー」の債券運用

- 『リバティ・ハーバー』が運用を行なう類似ファンドは、安定的で良好なトータルリターン（米ドルベース）となっています。
- 債券クレジットのスペシャリストが運用を行なう類似ファンドには、一般的な債券ファンドにはない運用の特徴があり、安定的で良好なトータルリターンをあげる要因となっています。



※類似ファンドの運用実績は、リバティ・ハーバー（ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントにおける債券クレジット専門の運用チーム）が運用する当ファンドと同じ戦略の過去の運用実績（米ドルベース、経費控除前）であり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成績を示唆または保証するものではありません。

※当ファンドの実際の運用にあたっては、信託報酬に加えて、「為替ヘッジあり」では為替ヘッジコスト、「為替ヘッジなし」では米ドル/円の変動による影響を受けます。

※米国債券総合：パークレイズ米国債券総合指数

（出所）Bloomberg等のデータより大和住銀投信投資顧問作成

※類似ファンドの過去の運用実績であり、当ファンドの将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。

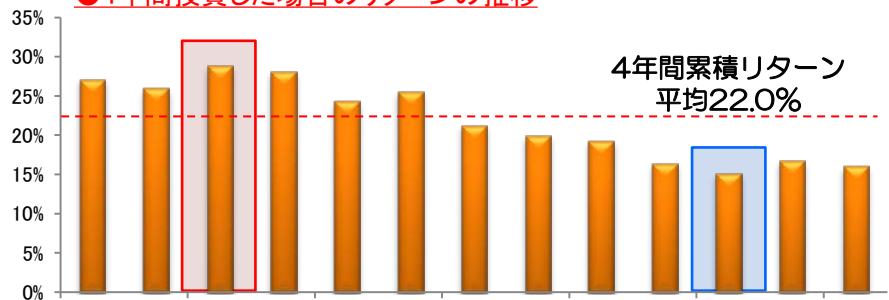
類似ファンドの運用実績に基づく4年間投資のトータルリターン

- 類似ファンドの過去の運用実績（米ドルベース）をもとに行なった4年間投資のトータルリターンを見ると、概ね20%以上を達成していることが見て取れます。
- 投資期間ごとのリターンでは、高水準の利息収益に加えて債券の値上がり益の獲得により、4年未満で20%超のリターンを達成したケースも見られます。

<為替ヘッジありの場合>

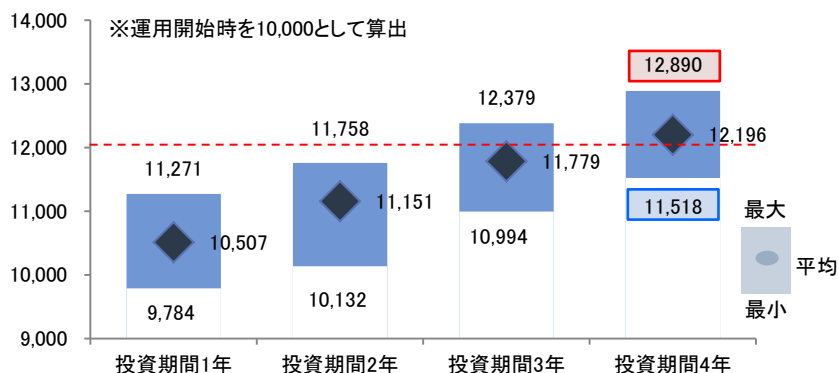
(2010年3月末～2015年3月末)

●4年間投資した場合のリターンの推移



※例えば投資開始が「2011/3」の場合、2015/3まで運用した4年間のリターン

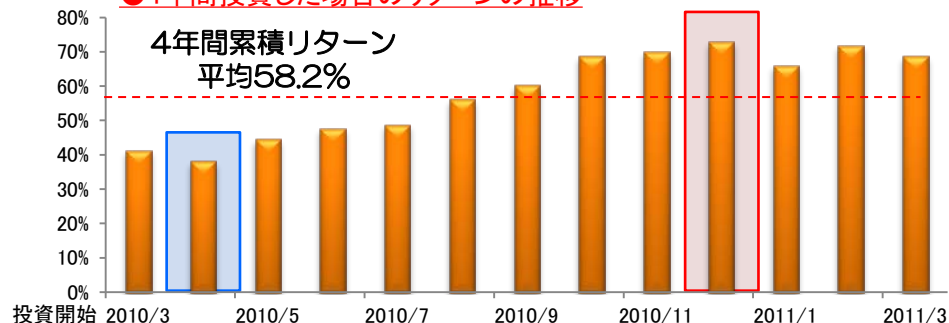
●投資期間別リターンの最大値・最小値・平均値の比較



<為替ヘッジなしの場合>

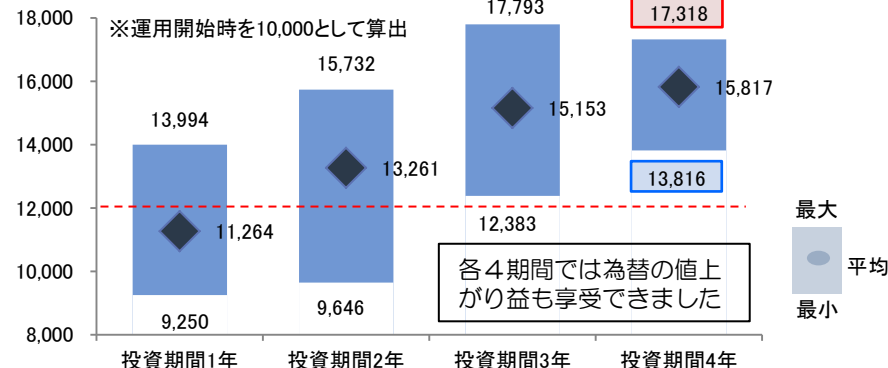
(2010年3月末～2015年3月末)

●4年間投資した場合のリターンの推移



※例えば投資開始が「2011/3」の場合、2015/3まで運用した4年間のリターン

●投資期間別リターンの最大値・最小値・平均値の比較



※上記は、類似ファンドの過去の運用実績をもとに大和住銀投信投資顧問が試算したシミュレーション（信託報酬年率1.863%相当控除後）であり、

当ファンドの将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。

※為替ヘッジコストは米ドル3ヵ月ものLIBOR（年率）と円3ヵ月ものLIBOR（年率）の差で算出しています。

（出所）Bloomberg等のデータより大和住銀投信投資顧問作成

ファンドの特徴

■ リバティ・ハーバーが実質的に運用を行なう当ファンドは、トータルリターン追求のための様々な特徴を備えています。

優れた企業価値分析により、トータルリターンの向上を追求する運用戦略

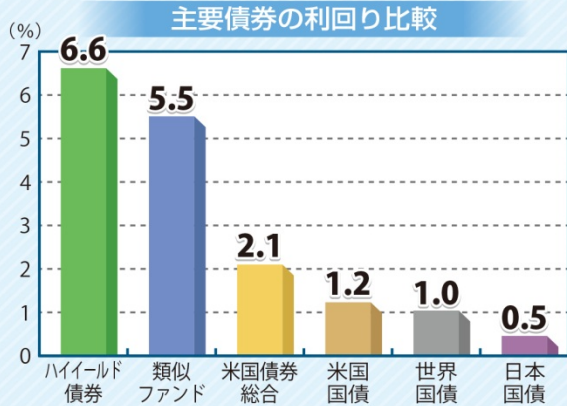
※米ドルベース

特徴1

高水準の利息収益

- 投資適格債券からハイイールド債券まで幅広い米ドル建て社債を主要投資対象とします。
- 継続的な銘柄入替えにより、信託期間を通じて高利回りのポートフォリオの維持が期待できます。

(2015年3月末)



特徴2

債券投資で値上がり益を追求

- 企業価値分析により、信用力の改善が期待される発行体を発掘し、厳選投資します。
- 社債市場の環境変化も考慮し、さまざまな収益機会をとらえ、常に値上がり益の獲得を目指します。



特徴3

価格下落の抑制志向

- 短期デュレーション運用と継続的な銘柄入替えにより、価格下落の抑制を目指す運用です（米国金利の上昇に耐性を持たせることを目指します）。



※類似ファンドは、リバティ・ハーバー(ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントにおける債券クレジット専門の運用チーム)が運用する当ファンドと同じ戦略の過去の運用実績(米ドルベース、経費控除前)であり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成績を示唆または保証するものではありません。

※ハイイールド債券: BofAメリルリンチ US ハイ・イールド インデックス、米国債券総合: パークレイズ米国債券総合指数、米国国債: シティ米国国債インデックス、世界国債: シティ世界国債インデックス(除く日本)、日本国債: シティ日本国債インデックス

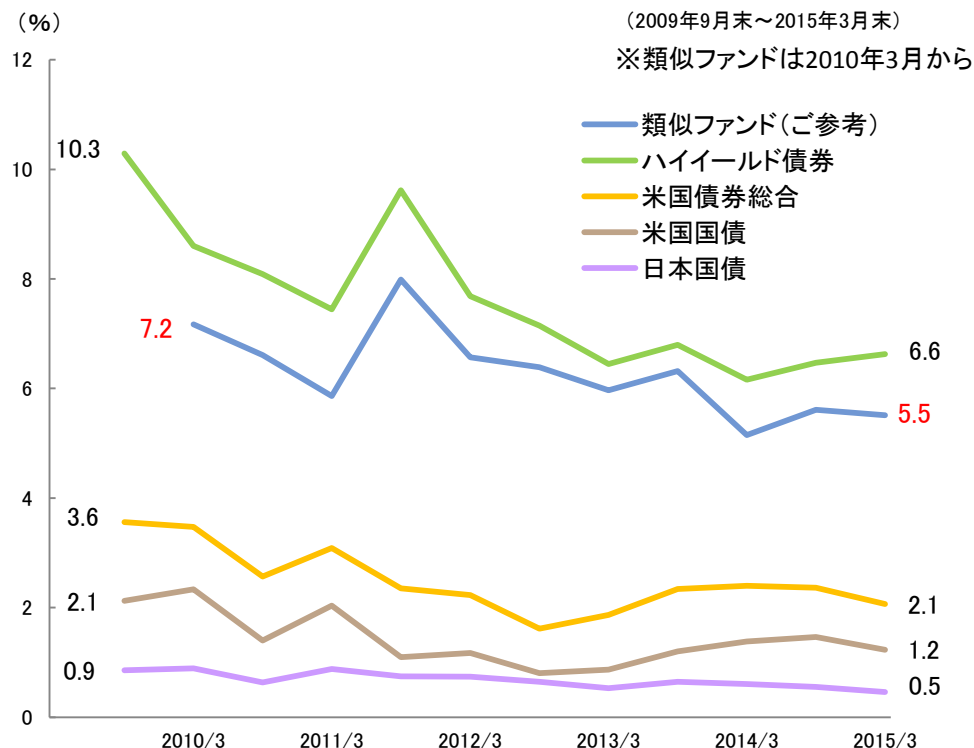
※当ファンドの運用に当たっては、信託報酬等の費用が掛かるとともに、為替ヘッジありの場合は為替ヘッジコスト、為替ヘッジなしの場合は価格変動リスクがともないます。

利回り低下の市場環境下で高い利回りを安定的に維持

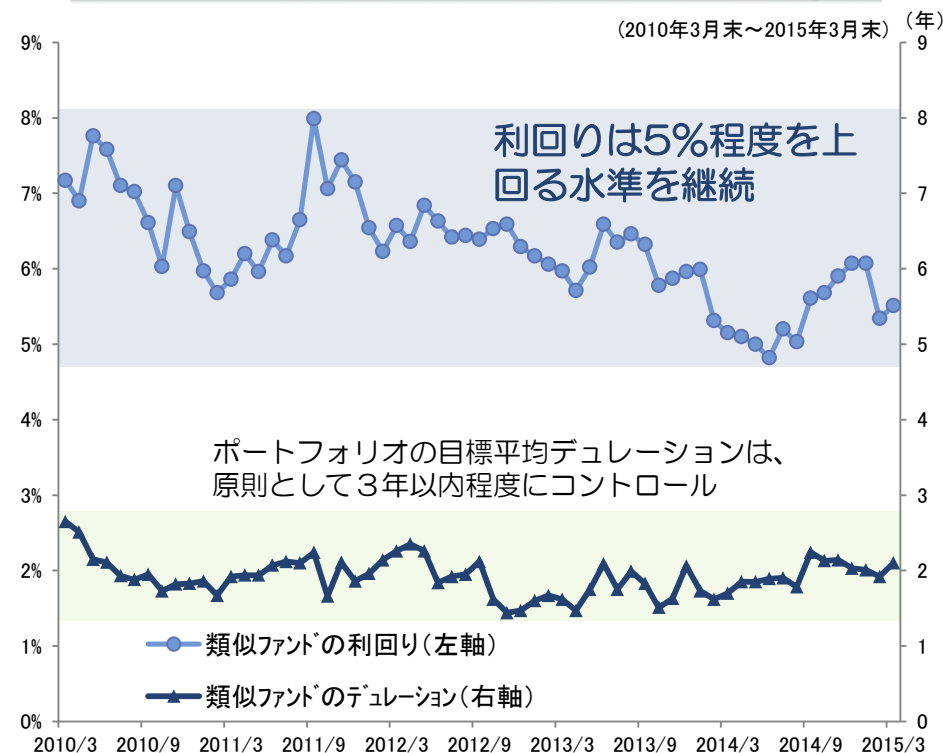
特徴 1

- 各国による相次ぐ金融緩和などを背景に、債券の利回りは総じて低下傾向にあります。
- 類似ファンドは、デュレーションを安定的に2～3年程度に維持し金利変動リスクを抑制しつつ、利回りは安定的に5%以上を維持してきました。高い利回りの安定的な維持はトータルリターン向上の要因となります。

リーマンショック以降の主要債券利回り



利回り・デュレーションの推移



(出所) Bloomberg等のデータより大和住銀投信投資顧問作成

※類似ファンドは、リバティ・ハーバー(ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントにおける債券クレジット専門の運用チーム)が運用する当ファンドと同じ戦略の過去の運用実績(米ドルベース、経費控除前)であり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成績を示唆または保証するものではありません。

※ハイイールド債券: BofAメリルリンチ US ハイ・イールド インデックス、米国債券総合: バークレイズ米国債券総合指数、米国国債: シティ米国国債インデックス、日本国債: シティ日本国債インデックス

※当ファンドの将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。

高い利回りを享受できる銘柄は限定的

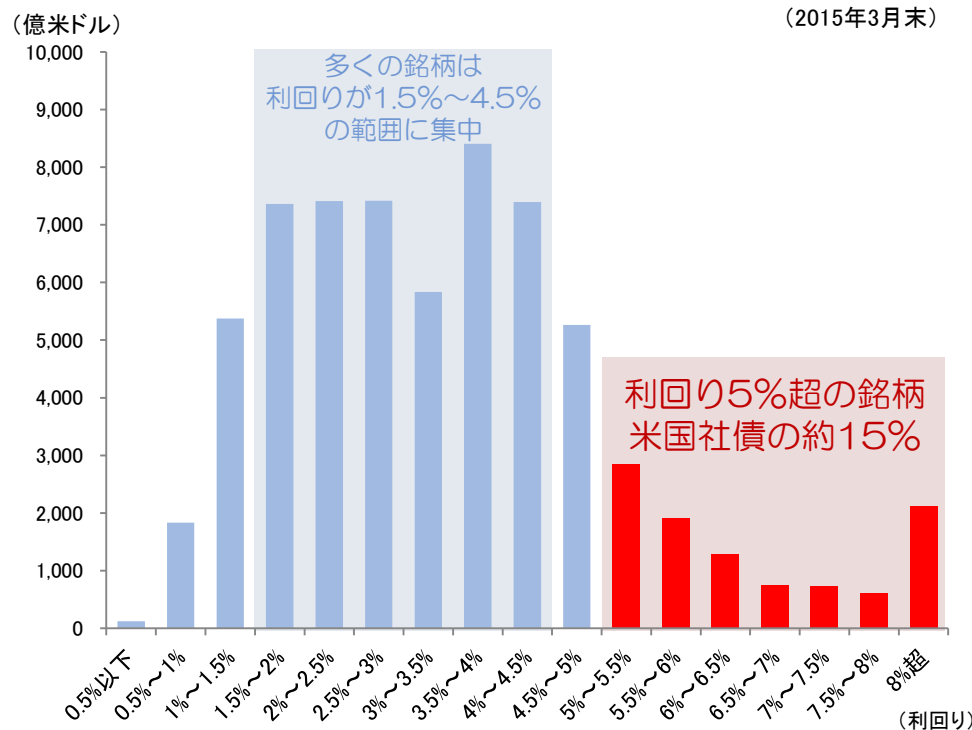
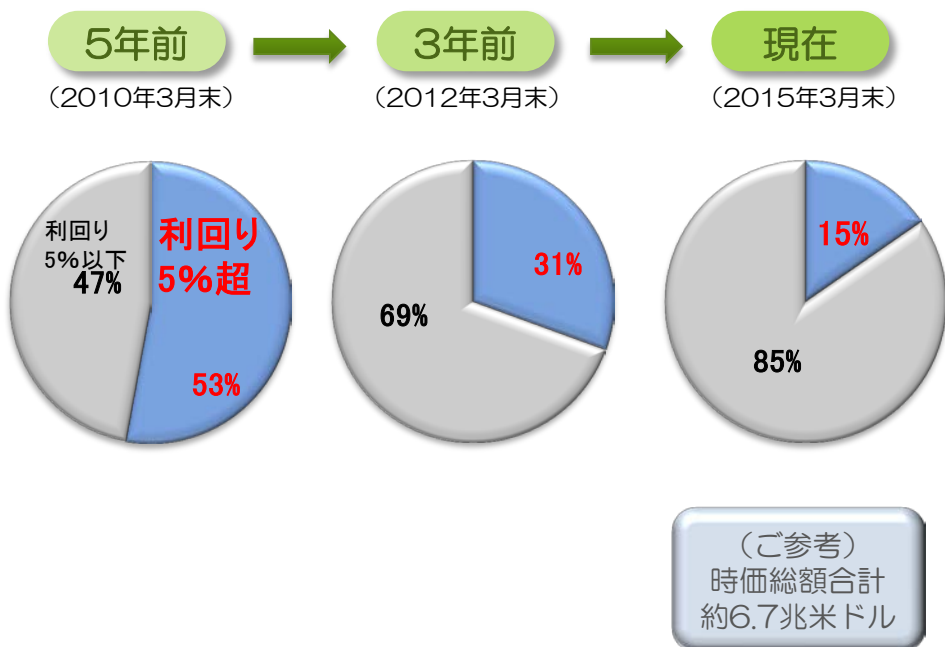
特徴 1

- 米国社債市場全体で利回りが5%を超える銘柄は、5年前は約53%を占めていたものの、足元では約15%程度まで減少しました。
- 限られた高利回り社債から継続的に高水準の利息収益を獲得するためには、発行体の綿密な分析・発掘が重要で、当ファンドでは債券クレジットのスペシャリストが行ないます。

米国社債の利回り別構成の推移



米国社債の利回り別の分布状況



※利回り別構成および利回りの分布状況は、投資適格社債とハイイールド債券のインデックスの時価総額のデータ等をもとに算出、表示。
 ※円グラフは時価総額合計を100%として、利回り別構成を示したものの。
 ※投資適格社債: BofAメリルリンチ US コーポレートインデックス、ハイイールド債券: BofAメリルリンチ US ハイ・イールド インデックス

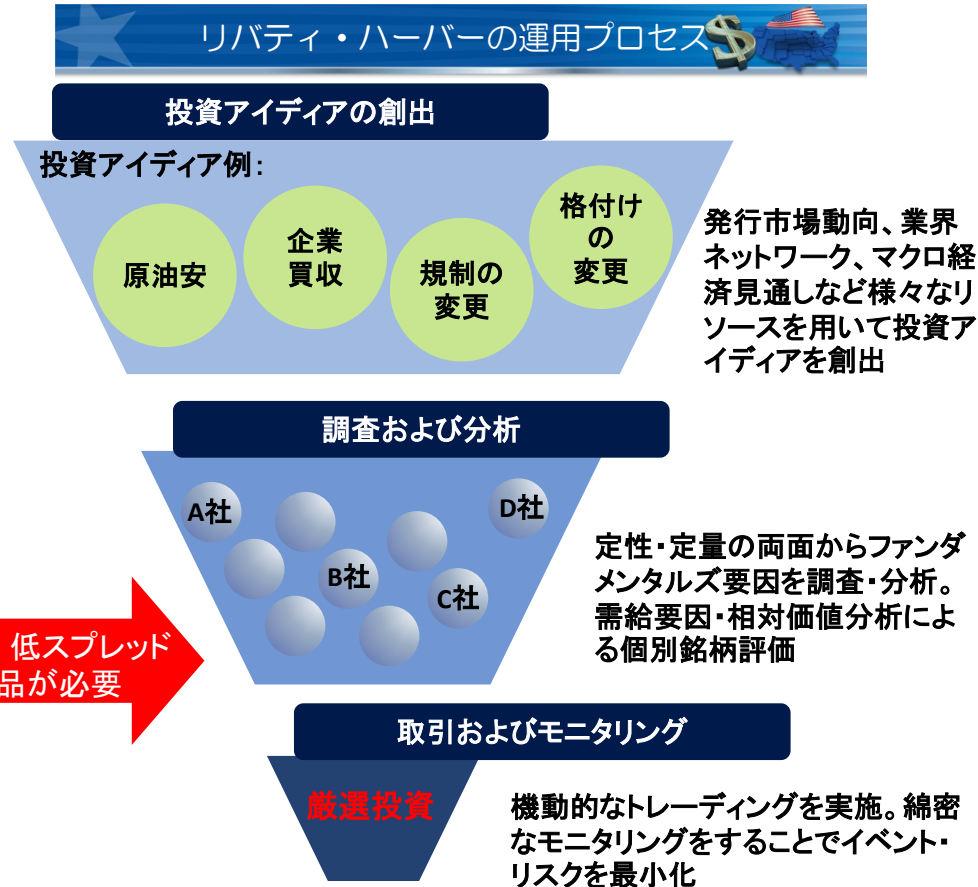
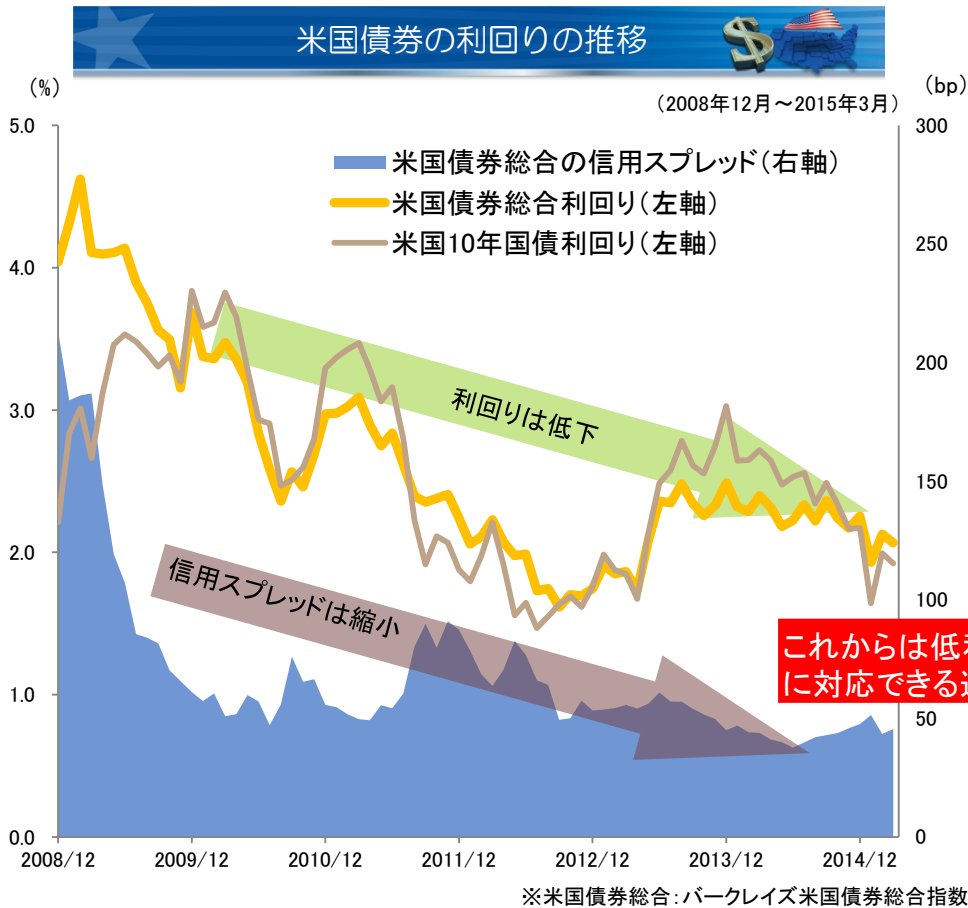
(出所) Bloombergのデータより大和住銀投信投資顧問作成

※当ファンドの将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。

米国債券の利回りは低下、今後は運用の巧拙が問われる

特徴2

- リーマンショック以降、米国債券の利回りは金融緩和政策や企業業績の回復を背景に低下してきました。信用スプレッドも縮小しており、今後の社債投資のパフォーマンスは、運用能力によってこれまで以上に大きく左右されるものと考えられます。
- 債券クレジットのスペシャリストであるリバティ・ハーバーは、確固たる運用プロセスに基づく厳選投資により安定的に収益を獲得してきました。現在の社債運用の環境下でこそ、リバティ・ハーバーの真価が発揮されるものと期待されます。

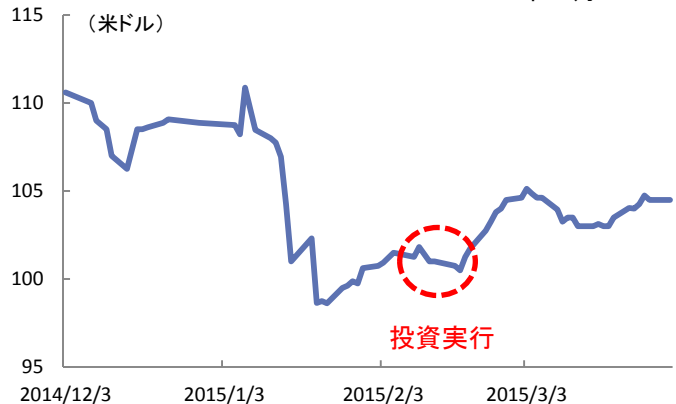


- リバティ・ハーバーは、個別銘柄の分析に基づいて、発行体の本来的な信用力に比べて割安に取引されている銘柄に厳選投資します。
- 投資した銘柄の本来的な信用力が市場に認知されることによる値上りを主な収益の源泉とします。さらに継続的に銘柄入替えを行ない、値上がり益の積み上げを追求することでトータルリターンの上昇を図ります。

投資銘柄の一例

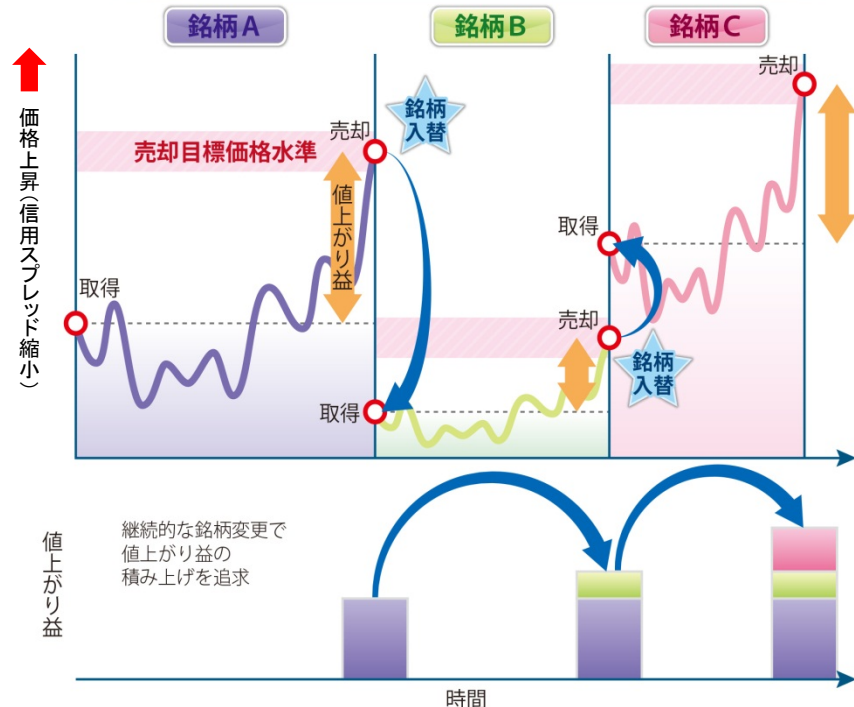
発行体: **ボンバルディア(カナダ)** 2014年12月～2015年3月

業種: 航空宇宙・防衛
 償還日: 2020年3月15日
 クーポン: 7.75%
 証券格付: B+(S&P)
 投資状況: 継続保有
 (2015年3月現在)



継続的に投資魅力度の高い債券に投資

継続的な銘柄入替えによる値上がり益確保のイメージ図



概要および投資テーマ

ボンバルディアはカナダの重工業グループであり、航空宇宙、鉄道輸送機器等の事業を行ないます。
 2015年1月、同社は新型ビジネスジェット「リアジェット85」のプロジェクトを需要低迷を理由に中断すると発表し、2014年第四四半期の収益予想を大きく引き下げました。その結果、同社は追加の資金調達が必要であると判断から、社債価格は急落しました。
 運用チームでは、同社のファンダメンタルズに対する魅力的な利回り水準を鑑み、上記の無担保債に投資をしました。同社には資金調達の余力が十分にあり、加えて小型航空機「Cシリーズ」の導入による、将来的な収益の大幅な拡大が見込まれるため、社債価格の急落は一時的であると見ています。

※上記は過去の投資の一例であり、当銘柄に投資することを示唆・保証するものではありません。

(出所) ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント、Bloombergのデータより大和住銀投信投資顧問作成

※上記はイメージ図です。
 ※実際の運用においては損失が発生する場合があります。

価格下落の抑制（米ドルベース）を目指す運用スタイル

特徴3

- 短期デュレーション運用と継続的な銘柄入替えにより、ポートフォリオの価格下落の抑制を目指し、安定したトータルリターン獲得を目指します。
- 過去の運用実績では、価格下落時において、主要債券と比較して、相対的に最大下落率が小さく、また下落前の水準までの回復期間が最短であったことがわかります。これらはトータルリターン向上の要因になります。

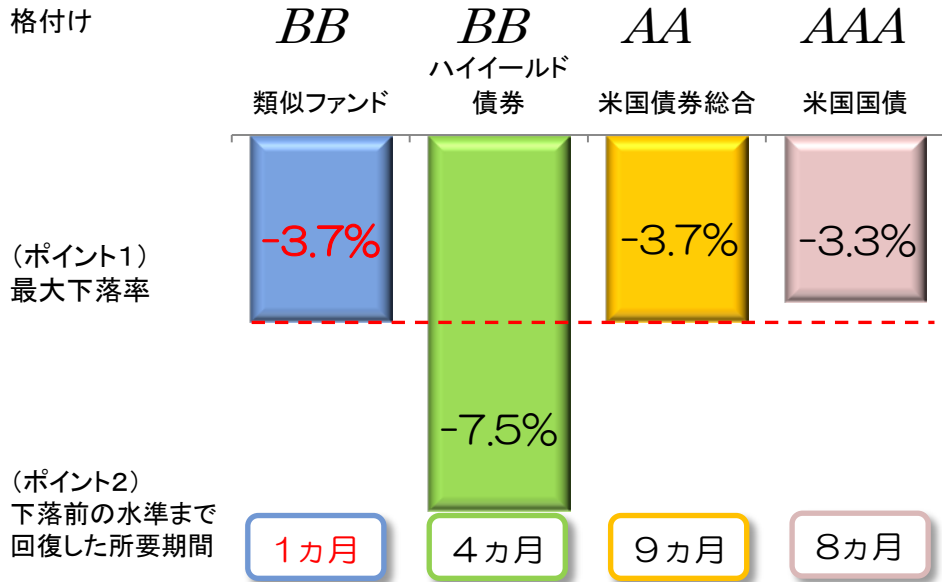
価格下落の抑制効果の2つのポイント

(ポイント1) 投資適格級の債券並みの最大下落率

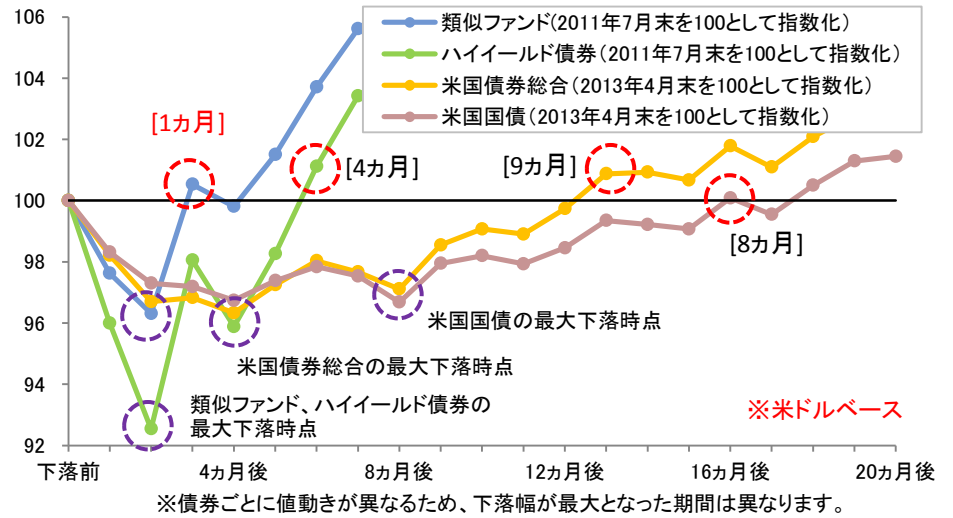
(ポイント2) ハイイールド債券よりも早い価格回復

(2010年3月末～2015年3月末)

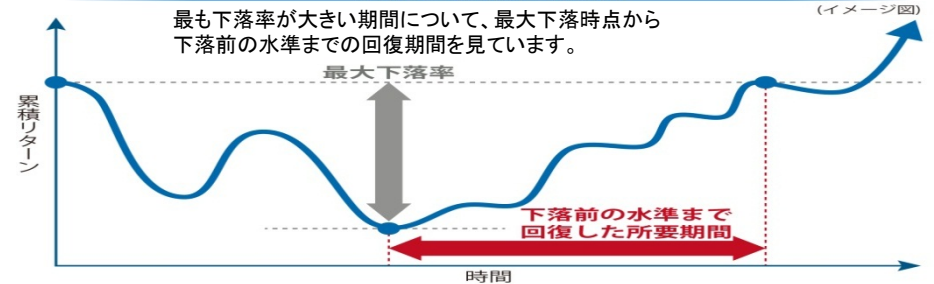
※米ドルベース



【各債券別下落直前からの価格の推移】



上記図表の用語の解説



※類似ファンドの運用実績は、リパティ・ハーバー(ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントにおける債券クレジット専門の運用チーム)が運用する当ファンドと同じ戦略の過去の運用実績(米ドルベース、経費控除前)であり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成績を示唆または保証するものではありません。

※ハイイールド債券: BofAメリルリンチ US ハイイールド インデックス、米国債券総合: パークレイズ米国債券総合指数、米国国債: シティ米国国債インデックス

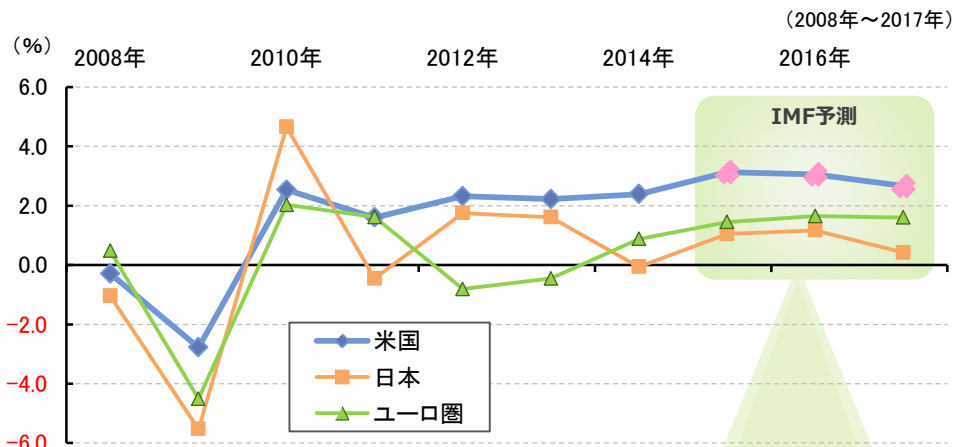
※格付けは2015年3月末現在

(出所) Bloomberg等のデータより大和住銀投信投資顧問作成

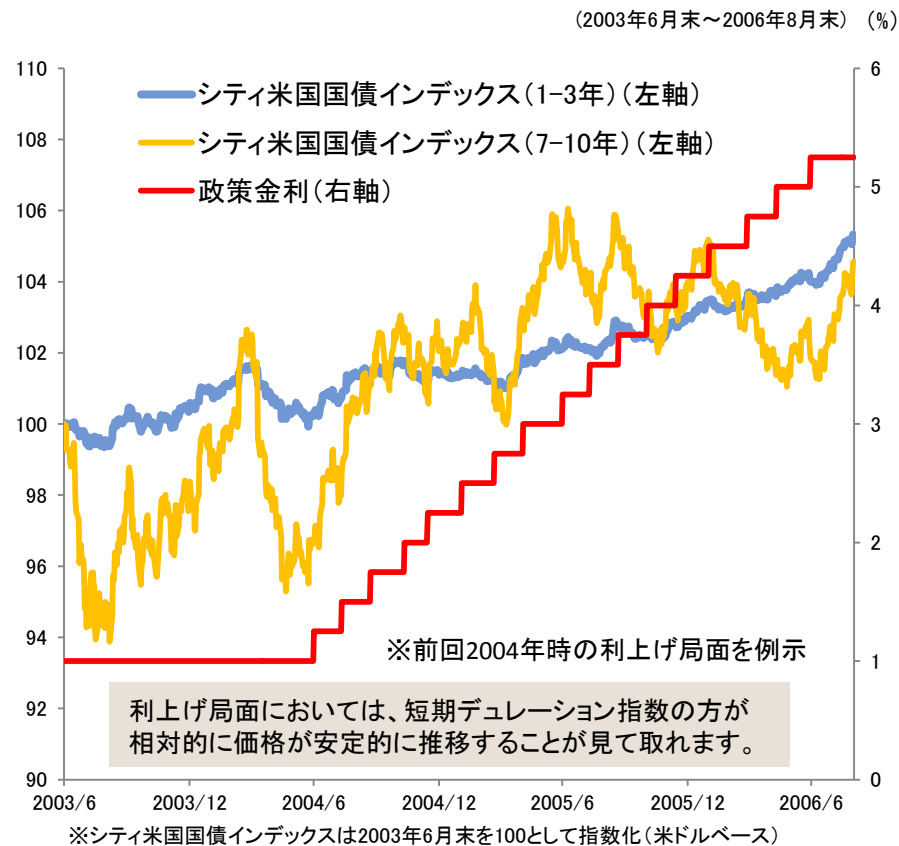
※類似ファンドの過去の運用実績であり、当ファンドの将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。

- 景気拡大の好循環により米国の経済成長率は堅調に推移しています。堅調な米国経済を背景に、市場では利上げ（金融政策の正常化）が2015年後半ごろに行なわれると予想されています。
- 当ファンドは、デュレーションを短期にすることで、金利上昇による価格下落の抑制を図ります。

主要国・地域の実質GDP成長率



利上げ局面に優位な短期デュレーション運用



景気拡大の好循環

雇用の増加

- ☆ 失業率は足もとで5%台まで低下
- ☆ 雇用者数も増加傾向

個人消費の拡大

- ☆ 小売売上高や消費者信頼感が回復
- ☆ 自動車販売台数等は拡大傾向

企業業績の拡大

- ☆ 企業の利益は高水準で推移
- ☆ 増益予想等から株価は最高値を更新中

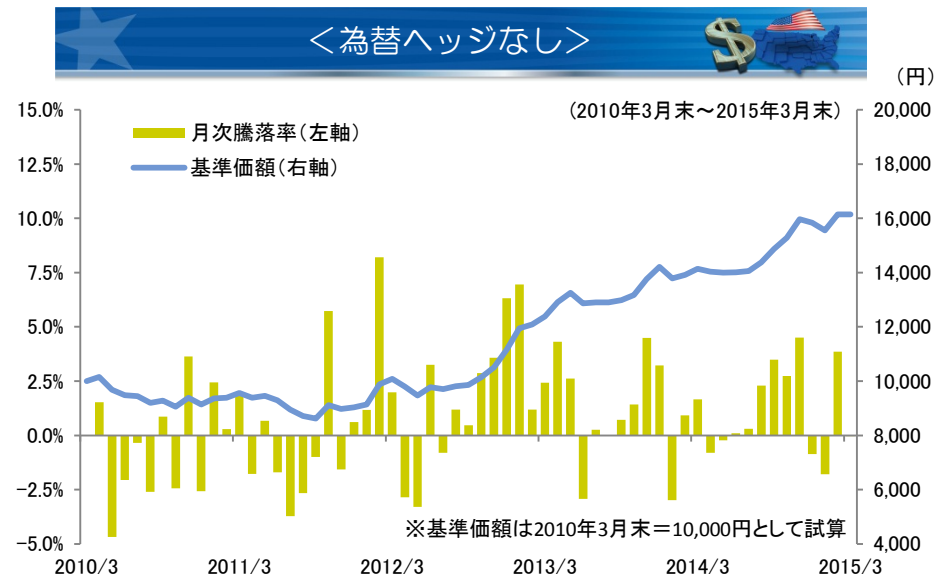
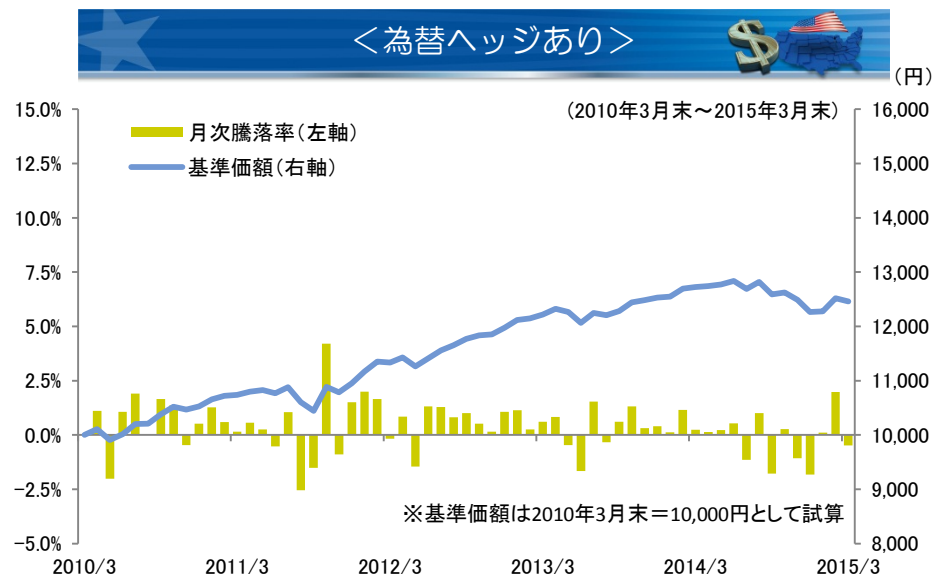
住宅市場の回復・拡大

- ☆ 住宅着工や販売は増加
- ☆ 住宅価格指数も回復傾向

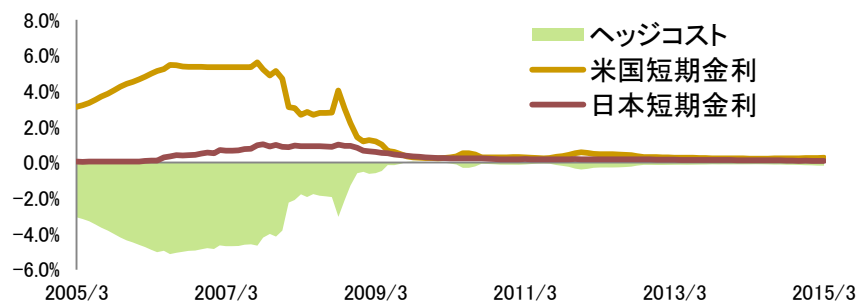
(出所) Bloomberg、各種資料より大和住銀投信投資顧問作成

『為替ヘッジあり』と『為替ヘッジなし』からご選択

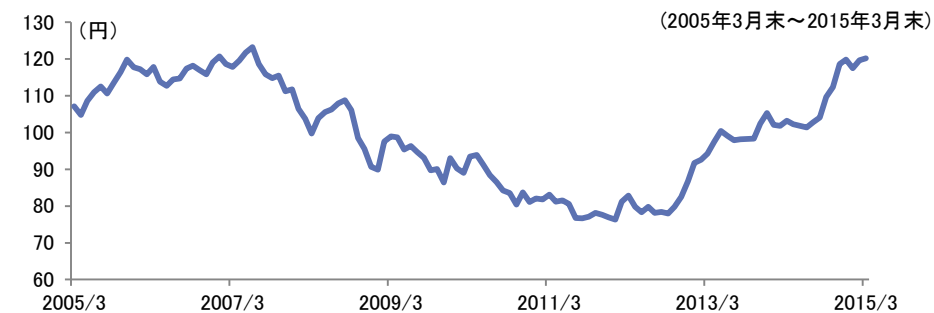
- 『為替ヘッジあり』では、対円で為替ヘッジを行ない、為替リスクの低減を目指します。
- 『為替ヘッジなし』では、為替リスクはともないますが、円安時には為替差益が期待できます。
※各ファンド間でスイッチングはできません。



●為替ヘッジコスト(米ドル売り/円買い)の推移 (2005年3月末～2015年3月末)



●米ドル(対円)の為替相場の推移 (2005年3月末～2015年3月末)



※米国短期金利:米ドル3カ月ものLIBOR、日本短期金利:日本円3カ月ものLIBOR
※為替ヘッジコストは、日本円と米ドルの3カ月ものLIBOR(年率)の金利差から簡便法により算出(手数料等は考慮せず)

(出所) Bloomberg等のデータより大和住銀投信投資顧問作成

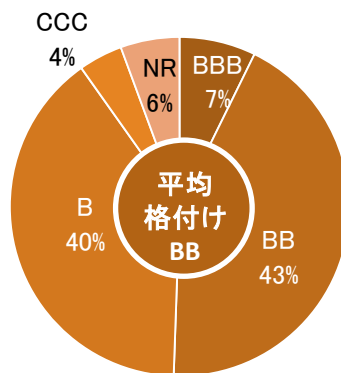
※類似ファンドの過去の運用実績をもとに大和住銀投信投資顧問が試算したシミュレーション(信託報酬年率1.863%相当控除後)であり、当ファンドの将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。

ポートフォリオの状況

ポートフォリオの特性

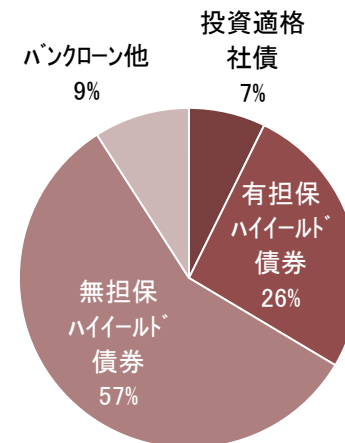
デュレーション	2.1年
直接利回り	5.9%
最終利回り(ヘッジなし)	5.5%
最終利回り(ヘッジあり)	5.3%

格付け別構成

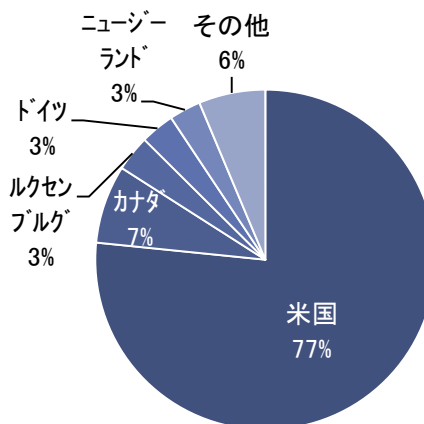


※NR:無格付け

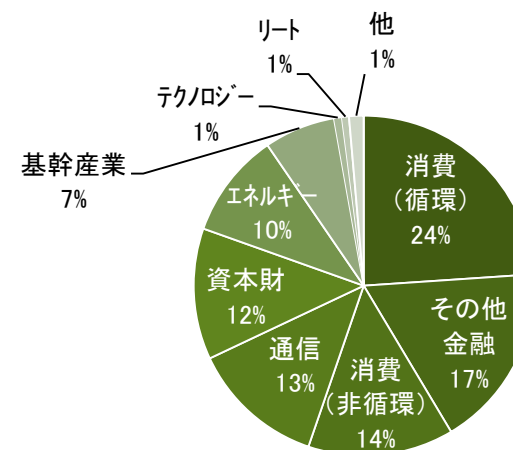
債券種別構成



国別構成



業種別構成



(出所)ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

※デュレーションとは「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標です。「金利変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、この値が長いほど金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。
(注)為替ヘッジコストは米ドルの3か月ものLIBOR(年率)と円3か月ものLIBOR(年率)の差で算出。

(注)ポートフォリオの利回りは、実際の運用におけるポートフォリオの利回りを保証するものではありません(費用・税金等考慮しておりません)。また、ファンドの運用成果、投資利回り等を示唆あるいは保証するものではありません。

※格付けは各銘柄の格付けより算出。原則、S&P社、Moody's社、Fitch社の格付けを採用。1つの銘柄に対し複数社の格付けがある場合は、原則として高い方を採用。格付け記号の表記に当たっては、S&P社の表記方法で統一し掲載しています。

※比率は、組入れ債券を100%として算出。比率の合計は四捨五入の関係で100%にならない場合があります

※ポートフォリオは、リバティ・ハーバー(ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントにおける債券クレジット専門の運用チーム)が運用する当ファンドと同じ戦略における2015年3月末現在のものであり、実際に運用開始する時点におけるポートフォリオと異なる場合があります。

ファンドの特色①



投資信託証券への投資を通じて、主として米ドル建ての社債等へ実質的に投資します。

- 当ファンドは下記の「指定投資信託証券」および「キャッシュ・マネジメント・マザーファンド」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行ないます。

<指定投資信託証券>

ルクセンブルグ籍外国投資証券

ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・リバティ・ハーバー・オポチュニスティック・コーポレート・ボンド・ポートフォリオ クラスIXO(USD) (MDist)

※指定投資信託証券は、今後変更または追加される場合があります。

- 指定投資信託証券は、米ドル建ての社債等を主要投資対象とし、運用はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー(所在地：米国ニューヨーク)が行ないます。
- キャッシュ・マネジメント・マザーファンドは国内籍の親投資信託で、円建ての公社債および短期金融商品等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として、大和住銀投信投資顧問が運用を行ないます。
- 指定投資信託証券への投資比率は、原則として高位を保ちます。
- 運用にあたっては、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社から投資助言を受けます。



さまざまな米ドル建ての社債等に幅広く投資することで、安定した利息収益を確保するとともにトータルリターンを獲得を目指します。

- 主に、北米の企業が発行する米ドル建ての銘柄を中心に投資します。
 - ポートフォリオの目標平均デュレーションは、原則として3年以内程度とします。
- ※個別証券では、残存期間が3年を超える債券に投資する場合があります。



『為替ヘッジあり』と『為替ヘッジなし』の2つのファンドからお選びいただけます。

- 為替ヘッジあり・・・原則として対円で為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を目指します。
- 為替ヘッジなし・・・原則として対円で為替ヘッジを行なわないため、為替変動による影響を受けます。
- 各ファンド間でスイッチングはできません。

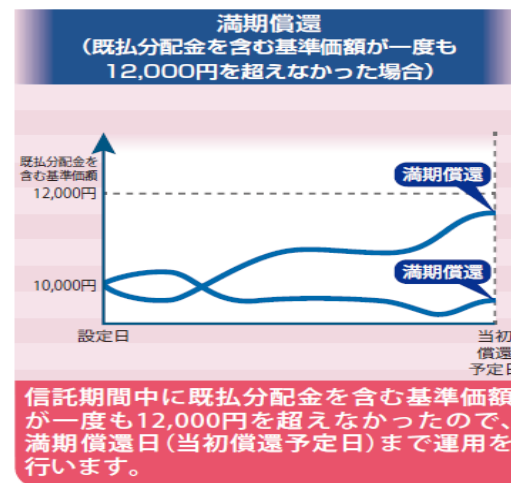
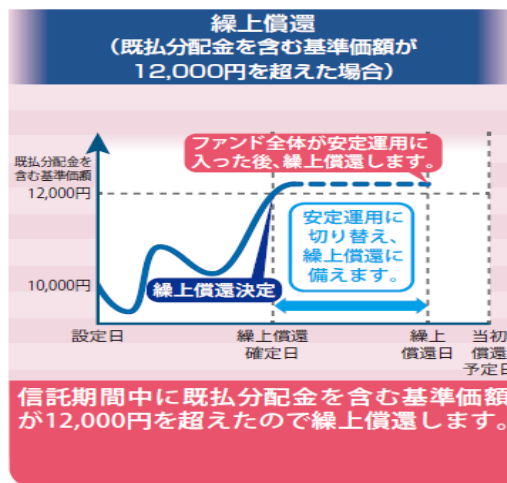
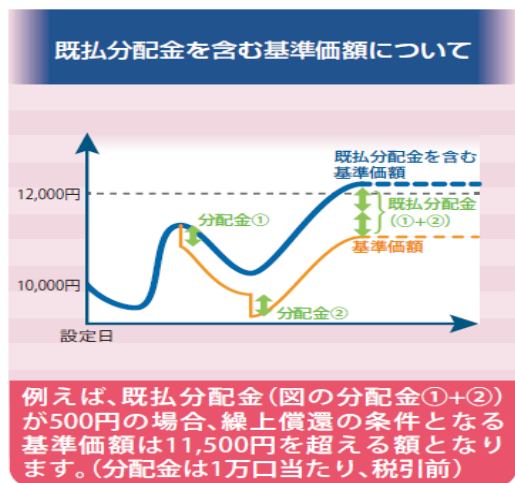
ファンドの特色②



各ファンドとも、信託期間（平成27年6月1日から平成31年5月20日）中に、既払分配金を含む基準価額（1万口当たり、税引前、以下同じ。）が12,000円を一度でも超えた場合、順次安定運用に切り替え、ファンド全体が安定運用に入った後、繰上償還を行ないます。

- 投資対象の外国投資証券の換金制限などにより当該外国投資証券の売却が速やかに行なえない場合、その他やむを得ない事情により、既払分配金を含む基準価額が12,000円を超えてから繰上償還が行なわれるまで日数がかかることがあります。
- 「為替ヘッジなし」では、既払分配金を含む基準価額が12,000円を超えた場合、速やかに対円での為替ヘッジを行ないます。
- 既払分配金を含む基準価額が12,000円を超えてから満期償還日までの期間が短い場合、繰上償還が行なわれない場合があります。
- 既払分配金を含む基準価額が12,000円を超えてから償還までの市況動向等により、既払分配金を含む基準価額もしくは既払分配金を含む償還価額が12,000円以下となることがあります。
- 上記の既払分配金を含む基準価額の水準は、安定運用に移行する水準であり、当ファンドの基準価額もしくは償還価額が既払分配金込みで12,000円を超えることを示唆または保証するものではありません。

(イメージ図)



毎年5月、11月の20日（休業日の場合は翌営業日、第1回決算日は平成27年11月20日）に決算を行ない、収益の分配を目指します。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。
- 収益分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。
- 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

運用会社の紹介とファンドの仕組み

運用会社のご紹介



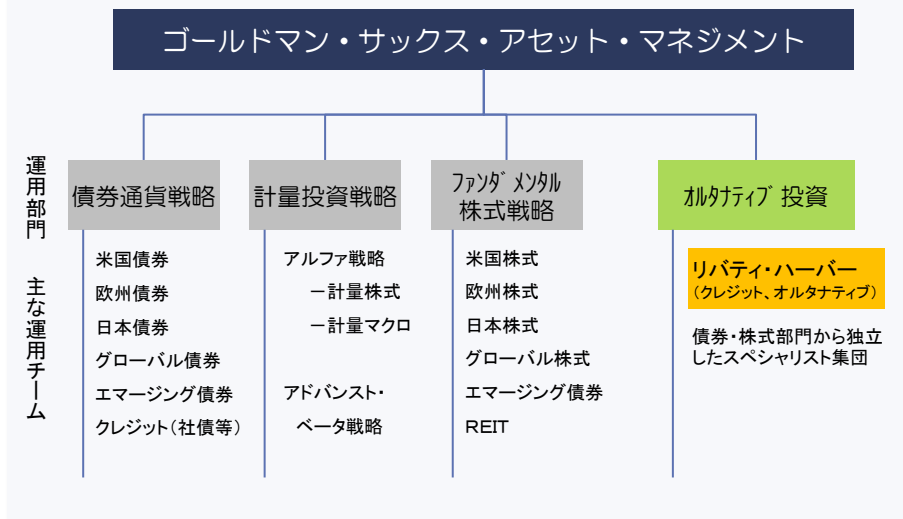
<リバティ・ハーバーについて>

- リバティ・ハーバーは、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント（GSAM）における債券クレジット専門の運用チームです。
- 2006年よりGSAM傘下となり、他の債券や株式の運用部から完全に独立した体制で、コネチカット州グリニッジを中心に、世界7拠点で運用を行なっています。また、2015年3月末時点で30名超の投資担当者が在籍し、総額約50億米ドル（約6,000億円）の運用資産を有しています。当ファンドと同様の運用を行なう類似戦略の運用資産額は、約20億米ドル（約2,400億円）となっています。

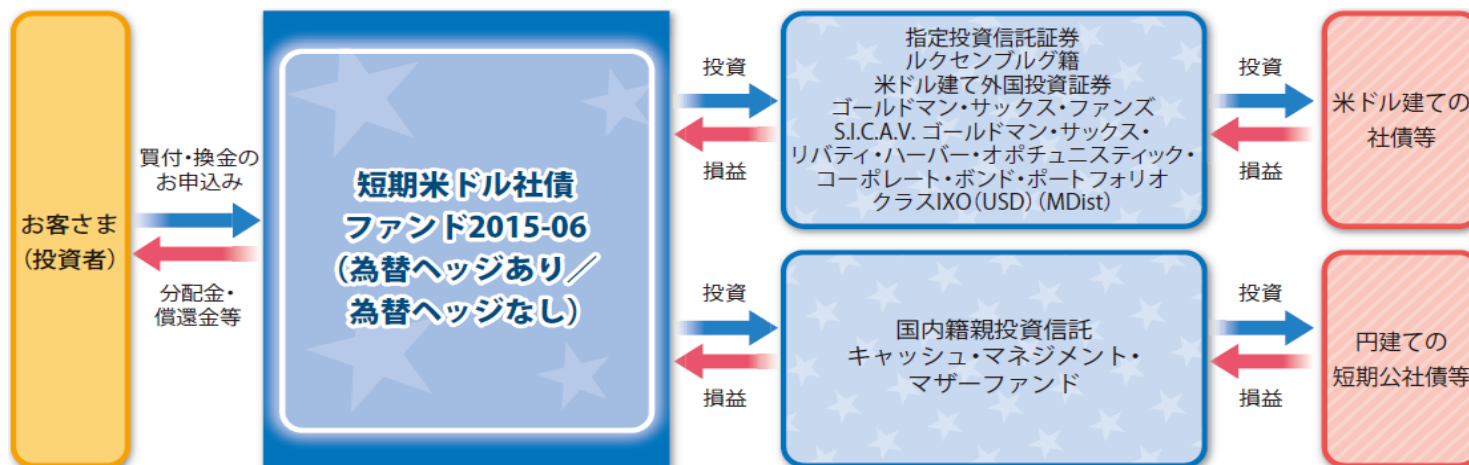
（参考）

- ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントは、世界有数の資産運用会社です。世界32カ所に運用およびビジネス拠点を構え、約2,000人のプロフェッショナルを擁し、機関投資家や個人投資家の皆様に様々な資産クラス、業界、地域に渡る資産運用および投資助言サービスを提供しています。

（運用体制の概要）



ファンドの仕組み



※指定投資信託証券は、今後変更または追加される場合があります。

投資リスク①

- 当ファンドは、投資信託証券を通じて実質的に債券など値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産は、為替の変動による影響も受けます。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。
- お申込みの際には、販売会社からお渡しします『投資信託説明書（交付目論見書）』の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。

《基準価額の変動要因》

基準価額を変動させる要因として主に以下のリスクがあります。ただし、以下の説明はすべてのリスクを表したものではありません。

流動性リスク	実質的な投資対象となる有価証券等の需給、市場に対する相場見通し、経済・金融情勢等の変化や、当該有価証券等が売買される市場の規模や厚み、市場参加者の差異等は、当該有価証券等の流動性に大きく影響します。当該有価証券等の流動性が低下した場合、売買が実行できなくなったり、不利な条件での売買を強いられることとなったり、デリバティブ等の決済の場合に反対売買が困難になったりする可能性があります。その結果、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。
金利変動に伴うリスク	投資対象の債券等は、経済情勢の変化等を受けた金利水準の変動に伴い価格が変動します。通常、金利が低下すると債券価格は上昇し、金利が上昇すると債券価格は下落します。債券価格が下落した場合、ファンドの基準価額も下落するおそれがあります。また、債券の種類や特定の銘柄に関わる格付け等の違い、利払い等の仕組みの違いなどにより、価格の変動度合いが大きくなる場合と小さくなる場合があります。
為替リスク	<p><為替ヘッジあり></p> <p>当ファンドは、主要投資対象とする米ドル建て外国投資信託証券について、対円での為替ヘッジを行ない、為替リスクを低減することに努めます。ただし、対円で完全に為替ヘッジすることはできないため、為替変動の影響を受ける場合があります。また、当該外国投資信託証券において米ドル建て以外の資産に投資した場合、米ドルと米ドル以外の通貨との為替変動による影響を受けます。また、円金利が米ドル金利より低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。</p> <p><為替ヘッジなし></p> <p>当ファンドは、主要投資対象とする米ドル建て外国投資信託証券を通じて外貨建資産に投資するため、為替変動のリスクが生じます（米ドル建て以外の資産に投資する場合があります。）。また、当ファンドは原則として為替ヘッジを行ないませんので、為替変動の影響を直接受けます。したがって、円高局面では、その資産価値が大きく減少する可能性があります。この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。</p>
信用リスク	投資対象となる債券等の発行体において、万一、元利金の債務不履行や支払い遅延（デフォルト）が起きると、債券価格は大幅に下落します。この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。また、格付機関により格下げされた場合は、債券価格が下落し、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。また、投資対象となる債券等の発行企業の財務状況等が悪化し、当該企業が経営不安や倒産等に陥ったときには、当該企業の債券価格は大きく下落し、投資資金が回収できなくなることもあります。この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

※詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」等をご覧ください。

投資リスク②

ハイ・イールド債券投資のリスク	ハイ・イールド債券は、一般的に高格付けの債券と比べて高い利回りを享受できる一方で、発行体からの元利金支払いの遅延または不履行（デフォルト）となるリスクが高いとされます。デフォルトが起きた場合、ハイ・イールド債券の価格は大きく下落し、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。
バンクローン投資のリスク	バンクローンの価格は、信用度の変動等の影響を受け価格が変動します。特に、債務者が債務不履行を発生させた場合や、債務不履行の可能性が予測された場合、バンクローンの価格は下落します。 バンクローンは公社債に比べて一般的に流動性が低いと考えられます。そのため、市場の混乱時や大量の追加設定・解約等に伴う資金移動が発生した場合等には機動的な売買ができない可能性があり、売却時においても本来想定される投資価値と乖離した価格で取引される場合があります。
転換社債投資のリスク	転換社債の価格は、転換対象となる株式等の価格変動、金利変動、発行企業の信用力の変動等の影響を受け変動します。 一般的に、転換社債の価格は、転換価格を基準として転換対象となる株式の価格が高いほど、株式の価格変動の影響を受けやすくなります。
カントリーリスク	投資対象となる国と地域によっては、政治・経済情勢が不安定になったり、証券取引・外国為替取引等に関する規制が変更されたりする場合があります。さらに、外国政府が資産の没収、国有化、差押えなどを行なう可能性もあります。これらの場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

《その他の留意点》

■収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

■クーリング・オフについて

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

《リスクの管理体制》

投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ファンドの費用

※大和証券でお申し込みの場合

投資者が直接的に負担する費用

●購入時手数料

購入金額に下記の手数料率(税込)を乗じて得た額とします。

購入金額	手数料率(税込)	費用の内容
1億円未満	3.24%	販売会社による商品・投資環境の説明および情報提供、ならびに販売の事務等の対価
1億円以上5億円未満	1.62%	
5億円以上10億円未満	1.08%	
10億円以上	0.54%	

※購入金額: (購入申込受付日の翌営業日の基準価額/1万口) × 購入口数

※購入時手数料には消費税等相当額がかかります。

(ご参考)

●口数指定で購入する場合

例えば、基準価額10,000円のときに100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。

購入金額 = (10,000円/1万口) × 100万口 = 100万円

購入時手数料 = 購入金額(100万円) × 3.24%(税込) = 32,400円

となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万2,400円をお支払いいただくこととなります。

●金額指定で購入する場合

購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当該投資信託の購入金額とはなりません。

●信託財産留保額

ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

●運用管理費用(信託報酬)

毎日、信託財産の純資産総額に**年率1.863%(税抜1.725%)**を乗じて得た額とします。運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

<運用管理費用(信託報酬)の配分(税抜・年率)>

販売会社別の取扱残高	50億円以下の部分	50億円超100億円以下の部分	100億円超300億円以下の部分	300億円超500億円以下の部分	500億円超の部分	
委託会社	1.05%	1.00%	0.95%	0.90%	0.85%	ファンドの運用等の対価
販売会社	0.65%	0.70%	0.75%	0.80%	0.85%	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	0.025%					運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価

※当ファンドが投資対象とする指定投資信託証券では信託報酬は収受されませんので、当ファンドにおける実質的な信託報酬は上記と同じです。

●その他の費用・手数料

財務諸表の監査に要する費用、有価証券売買時の売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用等は信託財産から支払われます。※監査報酬の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。監査報酬以外の費用等につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※当該手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」等をご覧ください。

●購入の申込期間	平成27年6月1日～平成27年7月31日
●信託期間	平成27年6月1日～平成31年5月20日(約4年)
●購入単位	1,000円以上1円単位(注)または1,000口以上1口単位 (注)購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等に相当する金額を含めて、1,000円以上1円単位でご購入いただけます。
●購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク、ロンドンまたはルクセンブルグの銀行または証券取引所の休業日と同日の場合、ならびに12月24日はお申込みできません。
●スイッチング	できません。
●購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
●換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額。換金代金は、原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
●換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうため、大口の換金請求には制限を設ける場合があります。
●信託金の限度額	2ファンド合計で1,500億円
●決算日	毎年5月、11月の20日(休業日の場合は翌営業日、第1回決算日は平成27年11月20日)
●収益分配	年2回の決算時に分配を行いません。 ※分配金再投資コースを選択された場合は、税金を差引いた後自動的に無手数料で再投資されます。
●課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。当ファンドは、益金不算入制度および配当控除の適用はありません。 少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」をご利用の場合…少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」は、平成26年1月1日以降の非課税制度です。NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※上記は平成27年3月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。

■委託会社およびその他の関係法人■

委託会社 : 大和住銀投信投資顧問株式会社

販売会社 : 大和証券株式会社

受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社